



AU 通信

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

新年あけましておめでとうございます



芦屋ユネスコ協会 会長 廣瀬 忠子

芦屋ユネスコ協会会員の皆様 元気よく新しい虎年をお迎えになられました事と存じ心よりお慶び申し上げます。

今年は張り子の虎の様にただ首を振るだけでは無く又猛虎ほどに成らずとも穏やかにユネスコ精神を發揮して世界の平和に貢献出来るよう頑張って参りたいと存じ皆さまの一層のご協力をお願い申し上げる次第でございます。

昨年の主な定例行事として4月世界遺産のバスツアーで古都奈良の勉強旅行はユネスコならではの成果があり、参加された方の評判もよく、又8月15日平和記念日の平和の鐘を鳴らす行事も大勢市民の参加で盛り上りました。

12月恒例の懇親会では外務省特命全権大使（関西担当）田邊隆一氏の世界情勢の講演が有意義に行われ、次にヘルマンハープの優しい音色に癒されビンゴゲームの収益で身障者へのドネーションも含め賑やかな中にもユネスコらしい行事でございました。新しく青年部が結成されましたので今後若いパワーの活躍も含め益々ユネスコ活動を盛大にして参りたいと願っています。

なおユネスコでは世界遺産を守る活動は周知されていますが、最近は地域遺産（芦屋の未来遺産）を発掘しそれを次世代へ繋げていく運動を始めました。皆様の近い所に良い情報があれば是非お知らせ頂きますようお願い申し上げると共に、従来より行っています文字の読めない人達のための寺子屋運動の書き損じハガキの回収・提供にもご協力よろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり昨年の報告と今年の抱負と共に一層ユネスコへのお力添えをお願いしまして私の新年のご挨拶といたします。

芦屋ユネスコ協会 2009年度年末講演会＆親睦会



昨年末、2009年12月15日（火）午後6時から、ホテル竹園に於いて、来賓・会員100名の参加を得て恒例の「年末講演会＆親睦会」が盛大に開催されました。

会長挨拶では、今年も芦屋ユネスコ協会がユネスコの精神に基づいた活動を続けてこられたのは皆さまのご支援とご協力の賜物であるとの感謝の言葉と共に、今後も「つなげよう平和の心」をスローガンとして、共に学び行動して、「平和と文化」「人類の福祉」のために活動を進め参りたいと挨拶がありました。講演会は、外務省特命全権大使（関西担当）の田邊 隆一氏より「日本の世界における役割（私の海外経験をふまえて）」と題し、日本から見た世界、ヨーロッパから見た世界の所見、駐在されたインドネシア・中近東（湾岸戦争の緊迫の中で）・ユーゴスラビア（最後のセルビア・モンテネグロ大使）・アフガニスタン（平和構築の努力）・ポーランド（友好の歴史と日本の重要なパートナー）など大使としてのご経験から多くの事例を踏まえて、国際化と異文化同化に対する日本の役割を分かりやすく説かれ感銘を憶えました。なお参考になる資料も多数頂戴致しました。



この後、今年も多額の活動資金をご寄付頂いたN・G・Fプロティーチングゴルフ協会会長の山下義房様と山田恵美様に会長から感謝状を贈呈しました。

中山健 芦屋市長による挨拶と乾杯で始まったディナータイムは和やかな懇談と共に美味しいお料理に舌鼓をうち、ティータイムより始まった恒例のbingoゲームは参加者提供の数多くの景品を勝ち取って、大いに盛り上りました。このbingoの今年の協力金は10万9千円になりました。

最後に特別出演して頂いた ヘルマンハープの演奏家であり、日本ヘルマンハープ協会理事長の梶原千里様のドイツでダウン症の子供のために開発されたバリアフリーのヘルマンハープの生い立ち、その特徴や日本における普及活動など解説を頂きながら、万人の心通わす弦の音の演奏に全員しばし酔いしました。

締めくくりは、ライトダウンした中、全員で輪になって螢の光を歌い、2009年末の恒例行事を盛大に終えることが出来ました。皆様のご協力に感謝致します。

芦屋ユネスコ協会 青年部 誕生

11月 1日芦屋ユネスコ協会 青年部が誕生、15名の学生によって発足しました。

青年部は芦屋ユネスコ協会の理念を受け継ぎ次世代の平和を志す者として、世界の人々が教育、科学、文化、コミュニケーションを通じて国際平和と人類の福祉の促進を青年部として草の根レベルで活動していきます。

青年部の活動モットーは「GLOCALにPEACEを発信する」です。

(芦屋から世界に向けて PEACE を発信していきます！)

青年部の役割は、ユネスコの学習、啓蒙や青年部ならではの活動、学生の勧誘、ユネスコ行事への積極参加などです。月に1回コミッティ一議を開き、みんなで活動の企画、実行に向けて取り組んでいます。 目下 青年部の会員大募集中です！！

青年部の部長には、梶原宣子(立命館大学)が 副部長に菅原 聖(甲南大学)が就任しました。

☆青年部長 梶原宣子からの一言☆

「みなさんこんにちはー！部長の梶原宣子です！ いきなりですが、みなさんにとって大切なものは何ですか？ 私は、仲間とのつながりや自分が自分らしく生きることを大切にしています。それを気づかせてくれたのはユネスコでした！ 自分自身、そして誰かのために仲間と共にACTIONを行う機会がユネスコにあります。少しずつでもいいのです ☆逆に全力でもいいのです！一諸に地球市民として、ユネスコ活動をしましょう。青年部をよろしくご支援下さい。

ユネスコ 世界寺小屋運動20周年

世界には、いまだ学校に行けない子どもが7, 500万人、文字の読み書きができない人が7億7, 600万人もいます。

この貧困の連鎖を断ち切り自立を助けることが「ユネスコ世界寺小屋運動」の目的です。

この支援策は「書き損じハガキ」の回収とご寄付で実施しています。この運動を始めて20年になりました。

芦屋ユネスコ協会も毎年、多数の「書き損じハガキ」を皆さんからご提供頂き、この運動を支えてきました。20年間で学んだ人は約124万人、支援した国は43カ国と1地域、実施したクラスの数は約10, 000書き損じハガキや寄付による支援総額は金額換算で約22億円になりました。
皆さんからの「書き損じハガキ」のご提供やご寄付に心から感謝しています。

ユネスコ寺小屋運動20周年スローガンは、

「読み書きは、心を作る。仲間を作る。平和をつくる。未来をつくる。」 です。
この言葉のもとに、寺小屋をもっと世界に広げていきたいと思います。

芦屋ユネスコ協会は、これからも「書き損じハガキ」を提供いただき、ユネスコ世界寺小屋運動を支えて参りたく存じます。そしてこの星に住む、すべての人々が読み書きできるよう頑張って参ります。たとえば、カンボジアでは、ひと月500円で一人が学校に行けます。ラオスでは書き損じハガキ1枚がチヨーク35本に変わります。書き損じハガキ1枚がアフガニスタンでノート2冊、インドで石盤1個、カンボジアで消しゴム2個、ネパールで鉛筆7本になります。

「書き損じハガキ」によるユネスコ世界寺小屋運動にこれからもご協力頂きますようお願い申し上げます。

(担当理事:塩井君子)

恒例 一 世界遺産・地域遺産見学バスツアーのご案内

[春の播州路・歴史秘話を巡る旅]

今年の春の“バスツアー”は、4月 5日(月曜日) 下記の内容で催します。

- 1) 赤穂城址・大石神社訪問
- 2) 赤穂市立田淵記念館見学
- 3) 赤穂市立海洋科学館・塩の国見学
- 4) 一目5千本の桜並木を坂越へ、歴史的町並み見学
- 5) 絵画の素晴らしい赤穂パークホテルで新鮮な瀬戸内料理ミニ会席

予定：ラポルテ東側 8時30分出発 17時30分帰着

- ・大石神社：大石内蔵助をはじめ47士を祀る神社、狛犬、さざれ石、秦の始皇帝陵の兵馬俑に似た義士が注目ポイント。
- ・田淵記念館：かつて江戸時代塩を全国に調達した塩廻船問屋田淵家の古美術が平成6年赤穂市に寄付された。
- ・海洋科学館：瀬戸内海の塩について学ぶことができる。赤穂の塩プレゼント付き。
- ・坂越：海沿いの桜並木を通り白壁の町並みが残る渡来人ゆかりの坂越の町見学。

例年通り3名の立命館大学大学院博士が詳しくご案内します。皆様お誘いあわせの上、奮ってご参加いただきたくお願い申し上げます。

バスツアー旅費：お一人 8,000円(昼食付) 当日現金で徴収させて貰います。

(当日はもちろん、催行2日前になってキャンセルされた方は8,000円を頂戴致しますので ご諒承下さい。)

参加希望者は、2月末までに別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて下記 本荘美恵理事宅宛にお申し込み下さい。(早目にお申し込み下さい。)

FAX送付先 **0797-32-7910** 本荘美恵理事宅宛

編集後記

早節分になりました。いかがお過ごですか？もう春のバスツアーのお知らせです。今年は播州路。私自身行った事がない所なので興味深々です。大勢の申し込みを待っています。まだまだ寒い日も多いかと思いますが風邪等に気を付けて楽しい旅行の日を迎えることを願っています。
(本荘 美恵)

世界遺産・地域遺産見学バスツアーのご案内及び申し込み用紙

【春の播州路・歴史秘話を巡る旅】

集合日時：2010年 4月 5日（月曜日）午前8時15分集合

集合場所：ホテル竹園芦屋 玄関前

参加費：8,000円（昼食代を含む）当日現金で徴収。

(当日はもちろん、催行2日前になってキャンセルされた方は
8,000円を頂戴致しますのでご諒承下さい。)

定 員：45名

申込期限：2月末日（厳守下さい。）

見学コース：芦屋ラポルテ東側（8:30）発～山陽道～赤穂城址・大石神社～

赤穂市立田淵記念館～赤穂パークホテル（昼食）～赤穂市立海洋博物館・

塩の国見学～坂越の歴史的町並み見学～山陽道～芦屋（17:30頃）着

・・・・・・・・・・・・・・・・(きりとり線)・・・・・・・・・・・・

2010年度 芦屋ユネスコ協会 バスツアー参加申込書

2010年 4月 5日（月） の芦屋ユネスコ協会主催のバスツアーに参加を
FAXで申し込みます。 (FAX発信日； 月 日)

氏名 _____ 男・女 _____ 才

同伴者 あり・なし (※是非お誘い合わせの上ご参加下さい。)

氏名 _____ 男・女 _____ 才 氏名 _____ 男・女 _____ 才

氏名 _____ 男・女 _____ 才 氏名 _____ 男・女 _____ 才

FAX送信先

0797-32-7910

本荘美恵理事宛